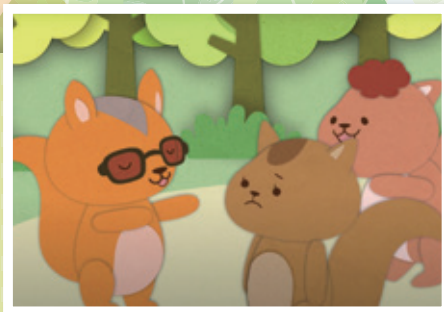


アニメ 多様性の芽をはぐくむ

監修：日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）



幼少期にこそ伝えたい「多様性」

人種、国籍、宗教、信条、性的指向や性自認、障害の有無…現代社会において「多様性」を尊重する重要性はますます高まっています。しかしそもそも人間とは多様なものであり、自分と異なる他者の個性を違和感なく受け入れ尊重する感性は、本来幼いころから身につけていくべきものです。

本シリーズは、自分とは異なる他者との出会い、また他者と異なる自分への気づきなど、子どもたちが経験しうる様々な場面をアニメーションで描き、あらゆる個性を尊重し、「人と同じ」であることにこだわる必要はなく自分らしく生きていくことの素晴らしさを伝えます。

対象 小学校、各種教育機関

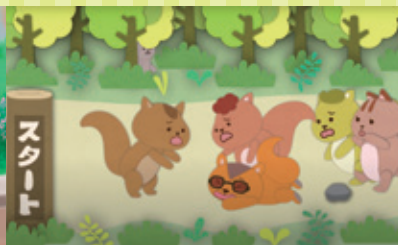
価格 各巻 19,800円（税抜18,000円）（学校・公共図書館版）
各巻 39,600円（税抜36,000円）（視聴覚ライブラリー版）

バリアフリー字幕版
選択可

DVD
全3巻

①人種・国籍 ②LGBTQ+ ③障害

朝日新聞大阪版（2024年5月26日朝刊）、
共同通信（2024年1月13日配信）に
記事として紹介されました。



ひとこと

他人事ではなく、もし自分のことであったなら

社会的マイノリティの人権課題を道徳などの授業で題材にしたところ、児童生徒からこんな声を寄せられることがあります。「遠い外国から来た人と仲良くしようと思います」「LGBTの人からカミングアウトされたとしたら、今までと同じように接します」「障害がある人のことを助けようと思います」といった類いです。素直な“子どもらしい”反応にも感じますが、子どもたちがこういった感想を持つ、あるいは持たせてしまうような発話が、授業者からあったのかもしれない。

この3本の映像教材は、社会的に少数の存在である他者を「理解しましょう」「助けましょう」「手伝いましょう」といった一方的な関係性を描いていません。そもそも他者を助けてあげる、という思考や発言そのものが、どこかしら上から目線な言い回しになっていると感じませんか？

この映像教材では、それぞれの違いは個性であり、その個性をお互いに認め尊重し合い、そのうえで関係性を構築していく尊さを重要なメッセージとして伝えています。誰もが平等で対等な人間関係を築いていくこと、自分と異なる他者の存在を知ることのみならず、自らが相手の立場になった時にどのように感じるか、自分だったらどうされたいか、映像を通じてそういった問いを繰り返し投げかけています。

日高庸晴 (宝塚大学看護学部教授)

宝塚大学看護学部教授、日本思春期学会理事

京都大学大学院医学研究科から博士号授与。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員などを経て現職。文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、文部科学省幹部職員研修・法務省の国家公務員人権研修・人事院のハラスメント研修など、国や自治体の人権啓発事業の講師として各地で普及啓発に努めている。専門は健康社会学、社会疫学、社会調査など。



①人種・国籍

18V0016S

来日・滞日する外国人は年々増加しており、子どもたちにとっても身近に外国人と接する機会が増えてきています。見た目や言語、文化、習慣など様々な側面で「違う」存在である外国人との出会いは、子どもたちにとって新鮮かつ多様性を知る貴重な経験になる一方で、その違いに起因する誤解が生じてしまうことや無理解な態度が表出されてしまうことがあるかもしれません。

この巻は、子どもたちが人種、国籍の違いから起こってしまうことがある無意識な思い込みや偏見、差別的な感情が自分自身の中にもあるかもしれない、そういった思考に気付くと共に、お互いを尊重できる感性を育むことをねらいとしています。(約12分)



②LGBTQ+

18V0017S

性的マイノリティ(LGBTQ+)が自分の性的指向や性自認に気付く時期には個人差がありますが、早い場合は小学校入学前ということもあります。幼少期から「他の人と違う」ことに戸惑いを持つ場合も多く、苦悩や葛藤を抱くことも少なくありません。

この巻では、どの性を好きになるのか、どの性別で生きたいと思うのか...、性的指向と性自認は多様であり、他者の存在を否定することなく誰もが生きやすい社会が望まれること、自分は自分であっていい、といったメッセージを伝えます。(約13分)

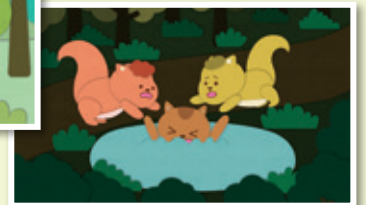
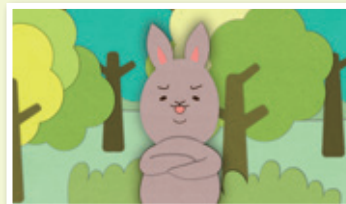


③障害

18V0018S

視覚障害、聴覚障害、知的障害、発達障害など様々な障害があります。障害を持つ人はそれぞれ日常生活における困難や固有の悩みを持つ場合があり、自分は障害を持っていないと自覚している人にとってはリアリティを持って理解されづらいことかもしれません。

この巻では、障害を持つゆえの生きづらさや不便さはある一方で、それも個性であること、どちらか一方が助け一方が助けられる存在という認識を持たないよう、お互いに対等な関係性を構築していくのが当たり前、そう感じてもらえるような構成としました。(約16分)



2511SB

企画・制作・発売



株式会社 サン・エデュケーショナル

〒192-0065

東京都八王子市新町1-8 かんベビル5階

TEL. 042-634-1930 FAX. 042-634-1931

<https://www.sun-edu.co.jp>